

TATSUNO JC NEWS

理事長挨拶

第59代理事長

赤松

楓己

「人心収攬～次代の先駆者 カリスマとならん～」

2025年度は、「人心収攬～次代の先駆者 カリスマとならん～」をスローガンに、誰かに好かれるためにではなく、愛する地域のすべての人やその未来のために、抜かりの無い挑戦と行動をさせていただきました。

日本、西播磨は平和です。国内外多くの場所で多くの人や文化に触れることで、改めて平和の実感をするとともに、まだまだ解決できていない、行動に起こしきれていない現実を知ることができました。まだまだなんです。困っている人は勿論、これからの遠い未来で平和を実感したり、幸せな機会に触れることができない人たちがでてくる可能性が山積みなのです。自身の人生の砂時計がいつ終わるかはわかりません。愛する地域や人に関しても同じです。だからこそ、自分たちがより良くするという強い志をもって、一切の妥協をすることなく大きくロマンと風呂敷を拡げて挑戦させていただきました。

これまでの当たり前がこれからのリスクになる可能性がある時代です。次代をつくる先駆者として、不易流行を実際に行動に起こして示すこと。立場や権力やお金など関係ない、役得ではない人心収攬を成すカリスマとなること。そして地域からカリスマで溢れることを目指し、全力で運動を展開させていただきました。

例会におきましては、1月は複数の高校や地域で活動する団体と共に、龍野青年会議所史上初めての約200人規模の賀会を開催し、これからの共創と挑戦を皆様と共有する場となりました。2月は、シニアクラブの皆様とともに拡大例会を構築することで、組織や使命感について、3月には地域のリーダーになりきることの重要性について、4月には龍野青年会議所の設立記念例会として、龍野青年会議所のこれまでの多くの挑戦と運動について学び、これからの未来にむけた高い志や気概を醸成し、5月には西島にて姫路青年会議所との合同例会を行い、2JCの未来に向けた深い絆を育み、6月には北条鉄道の取組から地域連携と魅力の活用について学び、7月には防災をテーマにボランティアセンターの運営や現実的に対応ができる準備と心構えの重要性について、8月には納涼例会にて上半期の振り返りと下半期や今後に向けての団結力を家族やメンバーの社員と共にあげることができました。9月には、地域まちおこし隊の活動から、地域課題がビジネスや課題解決に繋げることができること、10月には新人メンバーが構築する例会として総務と拡大の2委員会が連携し、地域の高校生とともに地域の魅力を再発見し、それをどう表現し活用するかについて学び、11月には相生商工会議所青年部や行政の方と相生未来

会議を実施、12月は最後の例会忘年例会として、卒業生を盛大に見送るとともに、激動の一年間を全員で称える機会となりました。

事業においても、目玉事業としてまぼろしの道の駅太子、音楽と地域連携の拡大フェス、部活動移行問題の取組としてのニシハリンピックバスケットボール大会、中学校での地域で働くことや自身の未来について考えるちいきみらいく事業、学生が地域の課題に挑戦する意識を醸成する政治参画事業など多くの事業を展開するとともに、長年取り組んできたJCカップと三木露風賞を地域移管することができました。

その他、120人以上のショットガンコンペを開催、アンバサダーや賛助会員制度の構築、行政や関連機関との防災協定、国際の機会創出を目的とした国際LOM締結への挑戦、新人メンバーのためのセミナーや研修制度の実施、部活の立ち上げ、旅行や観光などの交流の機会の創出、例会や各会議の在り方についての改革など、記載しきれないほどの組織運営や制度を含めた多くの取組を行いました。中でも大きいのは、西播磨青年会議所への名称変更に取り組んだことです。メンバー、シニアクラブ、各地会員会議メンバー、シニアクラブ、各地会員会議所、日本青年会議所、近畿地区、兵庫ブロック、各行政並びに関係団体の協力のもと無事変更の承認を得たことは、これからの西播磨地域の明るい豊かな未来のための大きな起点となったことは間違いありません。

世界会議やアスパック、京都会議から全国大会、地区大会やブロック大会などの多くの機会にも今まで以上に多くのメンバーが参加させていただくとともに、兵庫ブロック協議会の委員長として西田君、総括としては澤君を含めた多くのメンバーが outward させていただきました。多くの気づきと学び、運動を展開する機会をいただきました。

また、太子高等学校Jコーラス部の太子フェス、たつの市の福祉連携事業のらくスポ事業、赤穂市の赤穂義士祭、たつの市民まつり、まちづくりの集い太子、西播磨未来会議、自衛隊相生地域事務所様での多くの事業、各商工会青年部や地域団体の事業など、各地行政や団体の皆様からも新たに多くの事業や会議への機会をいただきました。多くの挑戦と機会をいただけましたことに感謝しています。

最後になりますが、我々龍野青年会議所に多くのご理解ご協力並びにご支援をいただきました、4市3町の首長や行政の皆様、学校関係者や生徒の皆様、同じく地域のために活動されている各関連団体や社会活動団体の皆様

その他多くの関わりをもっていただいた皆様のおかげをもちまして、全ての事業や活動に取り組むことができましたことに心から感謝申し上げます。皆様の事業にも多くご招待いただき、未来につながる多くの学びや気づきの機会をいただけたことや、我々の事業や活動にたくさんのご協力や参加をいただきましたことは我々メンバーにとってもこれからの地域にとっても間違いなく財産と起点になりました。本当にありがとうございます。

また、我々龍野青年会議所に多くのご理解ご協力並びにご支援をいただきましたシニアクラブ会員の先輩諸兄姉の皆様、改めて皆様が今日まで58年間紡いできていただいた志があるからこそ挑戦できるこの今という機会に深く深く感謝と敬意を表します。最大限に挑戦をさせていただき本当にありがとうございます。

そして、何よりもこの一年間一般社団法人龍野青年会議所の運動、活動に邁進してくれたメンバーの皆様に心より感謝申し上げます。私が掲げた理事長所信のもと、自分よりも世のため人のためと愛してやまない地域の未来のために最終最後まで諦めることなく大変多くの挑戦をしていただいたことに感謝しかございません。皆様がいなくてはやり切れませんでした。まちがいなく皆様は地域のリーダーであり、未来におけるカリスマであり、今年行動に起こしたことが素敵な未来を創り上げていくことになる私は確信しています。私にとって何よりも大切に尊敬してやまないメンバーの皆様。心からの敬意をこめて。本当に一年間ありがとうございます。

すべての皆様に心からの感謝申し上げるとともに、今後も妥協と抜かりのない挑戦を続けていくことをお約束申し上げまして、そして誠に僭越ではございますが、2026年からの龍野青年会議所並びに西播磨青年会議所と、この素晴らしいも愛おしい地域の未来をどうか永久的に愛し信じていただけますようお願い申し上げます。理事長としての挨拶とさせていただきます。



俺がカリスマ委員会担当

1.12 新年例会

新年のご多用のなかご参加くださり、誠にありがとうございました。まず120名強という方々との新年を祝う機会、そして2025年度龍野青年会議所の運動の方針をお伝えすることができ嬉しく思います。さらに、本年度はカリスマという言葉キーワードに理事長が掲げられており、多くのかたにご周知できたかと思っています。

委員会として、初めての事業を設営させていただき大変学びを得る機会となりましたが、私自身、設営上のご不憫を皆さまにおかけしたにも関わらず、最後までお付き合いいただきありがとうございました。

本年度の学びとして、1年間の職務を全ういたします。みなさま本当にありがとうございました。



本気パイオニア委員会担当

1.24-1.26 京都会議

2025年1月25日（土）、26日（日）にかけて2025年京都会議に参加しました。25日は理事長、専務理事、筆頭副理事長が本会の第1回理事会に参加し、その後LOMナイト、ブロックナイトには14名の多数のメンバーが合流しました。翌日は「京都会議 新年式典」に参加し、2025年度会頭の年初挨拶を聞き、青年会議所のスケールの大きさを実感しました。その後、京都の文化体験として、JCシニアクラブ京都会議報告会にも呼ばれる舞妓さんの舞を見学、お座敷遊びを体験し、京都ならではの文化に触れ、学びを深めることができました。

新時代会員拡大委員会

2.12 2月シニア合同例会

2月12日に太子町のビジネス旅館森重にてシニア合同例会をテーマに開催いたしました。

講師には西兵庫信用金庫の佐野様に来ていただき、ともに作る新時代の公演をしていただきました。

多くのシニアメンバーの方が参加していただき、シニア、メンバーとの交流に繋がられました。

また新たなメンバー松田君の入会認証式をおこない、拡大委員会1発目の素晴らしい例会となりました。



読めば話したくなる、カリスマトピックまとめ。

兵庫ブロック協議会

3.2 LOM懇談会

新宮ふれあい福祉会館にて、LOM役員懇談会が開催されました。兵庫ブロック協議会の皆様をお迎えして実施した懇談会では、各委員長が考える西播磨地域の課題について、ブロック役員の方々と意見交換を行う機会をいただきました。外部の視点を取り入れることで、当会議所の現状を客観的に振り返る貴重な場となりました。また、委員長をはじめ各メンバーにとっては、今後の例会や事業構築に活かすべき多くの学びを得ることができ、本年度の運動を力強く推進するための良いスタートとなりました。



新時代会員拡大委員会

3.8 じゃがいもゴルフコンペ

3月8日ストークヒルゴルフクラブにて開催いたしました。
今回のゴルフコンペは多くのシニアの方の参加いただきメンバー、シニアと関係性を気付けたよいゴルフコンペとなりました

超ブランディング委員会

3月例会

3月11日マルチエンタメイヤーのなるとも氏をお呼びし、「なりきる」をテーマに講演していただきました。初の担当例会ということもあり、設営の点で至らない点もありましたが、女性メンバーの我々にしか出来ない設えを考え、カリスマになりきるためのお話をいただき、よりカリスマに近づけたのではと感じました。

また重田くん、橋口くんの2名の仲間を迎え、さらに理事長の継承式も行い素晴らしい一時となりました。



読めば話したくなる、カリスマトピックまとめ。

本気パイオニア委員会

4.1 設立記念例会

御宿 志んぐ荘にて設立記念例会を開催しました。当日は、太子町長 沖汐守彦様、龍野青年会議所シニアクラブ会長 伊藤光弘先輩をはじめ、多くの来賓・先輩諸兄姉、姫路青年会議所、安芸青年会議所、関係諸団体の皆様にご臨席いただき、誠にありがとうございました。

例会では、先輩方の現役当時のエピソード動画の上映や、事務局・山田さんによる対談企画「幸子の部屋」に歴代理事長の皆様が登壇され、青年会議所の歴史と未来に触れる貴重な時間となりました。改めまして、ご祝辞を賜りました来賓の皆様、そして準備から当日運営までご協力いただいた先輩・メンバーの皆様に深く感謝申し上げます。



本気パイオニア委員会

4.27 U-11少年少女サッカー大会

龍野JCカップ2025

サンブロススポーツフィールド新宮にてU-11少年少女サッカー大会龍野JCカップ2025が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、快晴の青空のもと、二市一町より集まった総勢5チームによる総当たりリーグ戦が行われ、全力でプレーする姿には、ご両親も白熱し、メンバーも感動する試合となりました。

また、本年度は事業移管を目指し、フォルテFC様と実行委員会を設立し、事業実施を行いました。大きな事故や怪我もなく無事に終えることができました。開催にあたり、御協賛を賜りましたシニアクラブの皆様には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



西播磨政策室

5.11 姫路JCとの合同例会

2025年5月11日に姫路青年会議所との2JC合同例会を行いました。かつては西播磨5JCで行っていた合同例会ですが現在は2JCとなっており、数が減ったからこそより絆を深めていく必要があるということで、この度はフェリーで姫路市西島に行き、チームビルディングを目的としたアクティビティを実施しました。

青空セレモニーから始まり、姫路青年会議所、龍野青年会議所の合同チームでイカダ作りを行い、作ったイカダに乗りレースをしました。西島の雄大な自然のパワーのおかげで初めて会う人同士もしっかりとコミュニケーションが取れ、姫路青年会議所と龍野青年会議所の絆を育むことができました。



新時代会員拡大委員会

6.4 カリスマカップ

じゃがいもゴルフコンペ第2弾として、龍野クラシックにて「通称カリスマカップ」を開催しました。本事業は、龍野JCメンバーおよびシニアの皆様に加え、他LOMや地域団体の方々にもご参加いただき、約130名規模の大規模なゴルフコンペとなりました。龍野青年会議所として初めて、異業種交流を目的とした貸切ショットガン方式を採用し、当日は127名が参加しました。幅広い年代・業種の方々との交流を通じて、新たなつながりが生まれるとともに、龍野青年会議所の活動や存在を広く認知していただく機会となりました。



超ブランディング委員会

6.9 6月例会

6月例会では、赤字路線から地域を巻き込み黒字化へと導いた北条鉄道株式会社の元部長を講師にお迎えし、ご講演いただきました。

今回の例会は、龍野JCとして“初”が重なる特別な機会となりました。佐用町の地での初開催に加え、例会としては初のライブ配信を実施し、累計視聴回数は1,200回を超える反響をいただきました。

また、同じ姫新線沿線である岡山県から真庭JC、新見JCの理事長・専務にもご参加いただきました。普段とは異なる広域連携の場となり、姫新線及び地域交通の未来を共に考える有意義な例会となりました。

SOMUイノベーション委員会

7.16 7月例会

南山公民館にて、7月例会が開催されました。今回は「組織で支える防災対応～運営の実践と連携強化～」をテーマに、兵庫防災士会ならびに社会福祉協議会より講師の皆さまをお招きし、地域防災について学びました。ワークや体験を交えた内容で、「自分ごととして考えられた」との声も寄せられ、災害時における組織の役割や連携の重要性を再認識する例会となりました。今後の事業や地域防災の向上につながる、有意義な学びと交流の場となりました。



読めば話したくなる、カリスマトピックまとめ。

超ブランディング委員会担当

7.19-20 サマーコンファレンス

サマーコンファレンス2025が横浜みなとみらいで開催されました。

例年以上に多くのメンバーに参加頂き、LOMナイトでは焼肉を食べながら盛り上がり、ブロックナイトでは理事長予定者の発表もありました。またセミナーでは著名人をお招きして、日本の課題のみならず、世界の貴重なお話も聞くことが出来、大変有意義な時間となりました。



新時代会員拡大委員会事業

7.26 GO!GO!西播磨FESTA

宍粟市で開催された「GoGo西播磨FESTA」では、賛助会員の株式会社小森石油様より、うちわと水鉄砲をご提供いただき、スプラッシュタイムを大いに盛り上げていただきました。

音楽ステージでは、メンバーの中村利紗さんをはじめ地域ミュージシャンが出演し、暑さを吹き飛ばす演奏で会場を熱くしました。また、メンバーの田中さんが音響を担当するなど、龍野JCメンバーの個性が光る一日となりました。

超ブランディング委員会

8.9 納涼例会

宍粟市のウッドデザインパークにて納涼例会を行いました。ブロック大会のPRに向けたシデ作りを始め、委員会アワーでは正副&各委員会に分かれてスタンプラリーを開催し山登りをはじめとする自然のアクティビティを体験しました。途中雨に見舞われあえなくスケジュールを前倒しにしましたが、メンバー、メンバーの家族と共に楽しい時間を過ごせました。



読めば話したくなる、カリスマトピックまとめ。

新時代会員拡大委員会担当

8.30 兵庫ブロック大会

兵庫ブロック協議会主催の高砂大会が開催され、テーマ「～gift～ 個性が響き合う、価値の循環」のもと、多様なつながりと地域の魅力を体感する機会となりました。龍野青年会議所からは、メンバーの西田さんがブロック大会運営委員長として出向し、運営の中核を担いました。当日は赤松理事長の祭り衣装の準備や、来場者に配布するミニシデの製作をメンバー全員で行い、一体感をもって大会を支えました。また、ブース出店ではメンバー事業によるコーヒーや花の販売を行い、個性を活かした価値の循環を実践する大会となりました。



俺がカリスマ委員会

9.10 9月例会

本例会では真庭市より松尾敏正様を講師としてお招きし、ご講演いただきました。初代地域おこし協力隊リーダーとして真庭市地域おこし協力隊の礎を築き、現在は交流定住センターにおいてその知識と経験を存分に発揮しておられる、経験をお話いただき、地域を巻き込んだ運動を展開する方法や地域おこしに関わるコツなどメンバーをはじめ、ご参加くださった皆様にとって実りとなる時間になりました。また、本例会では副委員長が事業を構築するというチャレンジが不成功裡を、おさめることで委員会としても嬉しく思います。委員会内外関わらず多くのメンバーとの関わりをもつことができました。

俺がカリスマ委員会担当

9.13-14 近畿地区大会乙訓大会

2025年度は乙訓地域にて近畿2府4県にJC運動を伝播する機会である、近畿地区大会への参加を事業として設営の機会をいただきました。#未来を遊び尽くそうというテーマのもと近畿地区内各地域の魅力あるコンテンツを発掘・発信しました。

本大会では、長岡天満宮前道路から長岡天満宮、長岡公園エリアに地域の魅力ブースが約50ブース出展があり、兵庫の魅力を発信するお手伝いをさせていただきました。

そして何より、メンバーと多くの時間をともにすることで親睦を深めることができたのが何より楽しい時間となりました。この楽しさを伝え次年度以降もたくさんのメンバーと各種大会に参加したいと考えます。



読めば話したくなる、カリスマトピックまとめ。

俺がカリスマ委員会担当事業

9.23 幻の道の駅太子

太子町丸尾建築総合運動公園にて本年度の目玉事業となる幻の道の駅太子を開催させていただきました。

まずは、西播磨地域の4市3町の後援のもと、非常に多くの方々に携わっていただき開催することができましたこと、心より御礼申し上げます。何より次代を切り拓いていく太子高校の学生の方々と計画段階から協同することができ私たちにとって大変学びのある機会をいただきました。当日は、キッチンカー協会、4市3町の関係諸団体の皆様、警察、自衛隊、消防署、地域企業、シニアの方々にご協力いただき、約3000人の来場者を迎えることができました。何より、オープニングアクトから閉駅式まで、たくさんの地域の方と共創できたこと、地域の方々が活躍された様子を拝見することができとても有意義な1日となりました。私たちの運動をより多くのかたに周知いただくために今後も事業開催に向けて邁進いたします。



本気パイオニア担当事業

9.27 らくスポ

2025年9月27日（土）、たつの市役所周辺にて開催されたユニバーサルスポーツフェス「らくスポ」に主催者から参加協力の要請があり、龍野青年会議所として多くのメンバーと参加しました。

当日は、姫路獨協大学の学生とともに目隠しをして、杖だけでダンボール迷路をクリアするミッションを設け、目の見えない世界を体験するブースを運営しました。イベント全体でユニバーサルスポーツブースが多数あり、メンバーも様々な体験し、障がいについての学びを深めることができました。



新時代会員拡大委員会(新人研修議案)

10.4 10月例会

10月4日にたつの市たつの中央公民館にて文化と才能を活かした地域発展～たつの市の魅力再発見～をテーマに開催いたしました。

講師にはプロカメラマンの上吉川様のご参加、対外参加者の龍野北高校の写真部生徒、先生のご参加をしていただきました。

委員会アワーで優勝賞品のカレンダー写真を狙い、メンバー、生徒さん一丸となり写真撮影をいたしました。今回の例会は新入会員で作り上げた例会で、手探りながらも大成功になりました。



読めば話したくなる、カリスマトピックまとめ。

SOMUイノベーション委員会担当

10.10-12 全国大会佐賀大会

2025年10月10日(金)～12日(日)、佐賀市にて、第74回全国大会佐賀大会が開催されました。全国の青年会議所メンバーと交流し、JC運動のスケールや意義を改めて感じる貴重な機会となり、参加したメンバーにとって、大きな学びと刺激を得る場となりました。また、大会期間中、メンバーと行動を共にする中で、普段の例会や事業ではなかなか得られない交流が生まれ、メンバー同士の距離がぐっと縮まり、互いの理解が深まり、龍野JCとしての一体感も一層強まる機会になりました。



超ブランディング委員会担当事業

10.17 ちいきみらいく事業

今年度のちいきみらいく事業は、初めて太子西中学校にて開催しました。講師には開催校の卒業生であるメンバーの田中さんを迎え、「未来は自由に描いていい」をテーマに、働くことの意義やウェルビーイング向上につながる講話を行いました。講演の合間には、やりたいことや将来の夢をプレートに記入し、一つのツリーとして完成させるワークを実施しました。担当教諭からは、生徒が前向きに将来を考える良い機会になったとのことのお言葉をいただきました。

また太子町の糸井教育長にもご見学いただき、トライやる・ウィーク前の生徒にとって意義ある事業となりました。

本気パイオニア委員会担当事業

10.19 三木露風賞

たつの市赤とんぼホールにて第41回三木露風賞新しい童謡コンクール入賞詩発表会が開催されました。本大会は昭和59年10月7日にたつの市が『童謡の里宣言』をして以後、童謡の発展と継承を目指して毎年開催しています。毎年、全国から童謡の詩を募集し、今年は5,256編の応募がありました。その中から最優秀賞、優秀賞、三木露風賞第41回記念特別賞の3編に対し作曲され、新たな童謡が誕生しました。また、今年度は、「まちのヒーロー・ヒロイン」をテーマに設定し、入賞作品として、(一社)龍野青年会議所賞に赤松理事長より表彰状の授与がありました。



読めば話したくなる、カリスマトピックまとめ。

本気パイオニア委員会担当

11.9 ニシハリンピック

創継町民体育館にて「ニシハリンピック2025」を開催しました。中学生の部活動地域移行に伴う課題解決の一環として、中学生が活躍する場を守り、部活動指導員募集のPRを目的に、バスケットボール大会を実施しました。

当日は、たつの市・太子町から計5チームが参加し、アトラクションやエキシビジョンマッチも交えて、民間団体ならではの大会となりました。中学生は試合では真剣に、アトラクションでは楽しそうにはしゃぐ姿を見せ、監督・コーチからは「来年も開催してほしい」との声もいただきました。

大会開催にあたりご協力いただいた太子町教育委員会様、たつの市バスケットボール協会様、相生市バスケットボール協会様に心より感謝申し上げます。



本気パイオニア委員会担当

11.10 11月例会

龍野青年会議所11月例会「相生未来会議2025～相生の未来をともに考える～」を、相生市文化会館 扶桑電通なぎさホールにて開催しました。今年度より新たに活動エリアとなった相生市での初の例会となり、相生市役所より2名、相生商工会議所青年部様より2名、相生青年会議所シニア1名の皆様にご参加いただきました。

例会では、夏のイベントづくりをテーマにワークショップを行い、地域が抱える課題や解決の方向性について、組織や立場を超えて意見交換を実施しました。参加者からは「非常に有意義だった」との声が寄せられ、メンバーからも「他地域でも同様の取り組みを広げたい」との意見が上がるなど、次年度へつながる手応えある例会となりました。

SOUMUイノベーション委員会事業

12.6 忘年例会

2025年12月6日(土)、ザ・ロイヤルクラシック姫路にて、忘年例会が開催されました。本年度最後の締めくくりとなる例会として、例会構築段階から、委員会の垣根を越えて多くのメンバーが交流し、当日は笑顔あふれる楽しい時間を共有することができました。互いの一年の労をねぎらいながら来年度への活力につながる、また、卒業を迎えるメンバーの功績を称え全員で門出を祝う例会となりました。

